

今月もシンプルなケース学習を材料に、統合(何が癒やされるべきか?)を考えましょう。

今回は、難病(潰瘍性大腸炎～自己免疫疾患)のケースです。

難病とは、何でしょうか？難病のケースに臨む際、どのような難しさがあると思いますか？

ご存知のように難病とは、現代西洋医学では治療が難しい病気のことです。ホメオパシーで、治療が難しいわけではありません。

難病と認定されると、医療費負担が少なくなることもあり、薬物を継続してとっていることが多いです。それが、治療を妨げてしまう可能性があることに注意が必要です。

特に自己免疫疾患では、ステロイドなどを継続投薬されていることが多く、慎重な対処が、求められます。

しかしながら、ホメオパスは、薬物摂取については、一時的にせよ止めるようにアドバイスしてはいけません。薬物を常用している状態をキープしつつ、対処して下さい。

(参考／オルガノン § 92 要約)

危険で一刻の猶予もない場合は、断薬して影響が消えるまで待つてはならない。そのときは薬の影響も含めた全体像をまとめ、それに合ったレメディを使うこと。

今回も「前分析--->分析--->統合」して行きましょう。

いつものように守秘義務を守って下さい。

尚、ケースは授業後データ消去(あるいは、破棄)をお願いします。

気になることや要点はノートなどに記して下さい。

では、始めましょう！